

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山地区沿線整備事業推進懇談会等の運営及び情報提供事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課				
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	梶 隆之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・千葉県 ・都市再生機構	意図	T X沿線で施行されている土地区画整理事業に関する情報を共有し、関連する事業箇所での事業調査を図り、事業の促進を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園周辺地区及び木地区土地区画整理事業施行者である千葉県と情報の共有を図ると共に、事業推進に向け意見交換を行う。 ・新市街地地区の土地区画整理事業施行者である都市再生機構と情報の共有を図ると共に、事業推進に向け意見交換を行う。 			
事業開始から現在までの状況変化	事業推進に併せて、T X沿線で行われる公共事業等について、情報を共有するため出席を要請する部署が多様化してきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	まちづくり推進会議の開催	2	2	2	回	→→
②	推進懇談会の開催	2	2	2	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・各年度当初に年度事業計画や進捗等について、年度中期には年度事業の進捗状況等についての情報を共有すると共に、課題等について意見交換を行った。
- まちづくり推進会議 2回開催
- 推進懇談会 2回開催
- ・千葉県及び都市再生機構と年間を通し、事業推進に向け、随時、協議打合せを行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,098,400	1,073,920	1,054,720
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	1,098,400	1,073,920	1,054,720
人役・職員(人)	0.16	0.16	0.16
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	関係部署や関係機関と情報を共有し、土地区画整理事業促進に向けた協議を行う。	③取組における課題(Check)	事業期間内に完了させるため、運動公園周辺地区の今後の進め方及び施行区域の見直しが必要である。
②H30に実施した取組(Do)	土地区画整理事業施行者と事業推進に係る問題点を共有し、解決に向けた会議を開催した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	運動公園周辺地区では、事業期間内の事業完了に向けた取り組みとして、事業の軽量化について検討を行う。